

六甲からの森だより



第1回 六甲山系グリーンベルト 森づくり講習会

開催日：平成21年7月10日（金）・11日（土）

「森の世話人」が一同に会して、六甲山系グリーンベルト整備事業や森づくりについての講習会にのぞみました。

今回は、7月10日と11日の2日間に分けて、延べ29団体59名が参加しました。



森づくり講習会の開幕！



団体紹介は緊張の面持ち

六甲山系グリーンベルト整備事業についての講習では、六甲山系の成り立ち、地質、災害の歴史、土砂災害に強い森の整備等についての説明を受け、改めて六甲山の現状や森づくりの重要性について確認しました。

まずは、各々の団体が自己紹介。既に活動を始めている団体や、これから活動を始める団体等、色々な団体がそれぞれの目標や活動場所等について発表しました。活動を終えたその場で講習会に参加した団体もありました。



森づくりの重要性を再認識

森づくり活動と安全対策についての講習では、基本的な道具の使い方やグループリーダーの役割、心構えについて学びました。

初心者から経験豊富な方まで、皆さん真剣そのもので説明に聞き入っていました。



道具の取り扱いは慎重に

意見交換会では、各団体が活動にあたっての要望や、これまでの活動で苦労した点、工夫した点などを具体的に話しました。

ニセアカシアの枯らし方や苗木の里親探しといった情報は、これから森づくり活動を開始するメンバーにとって、とても役立つものでした。



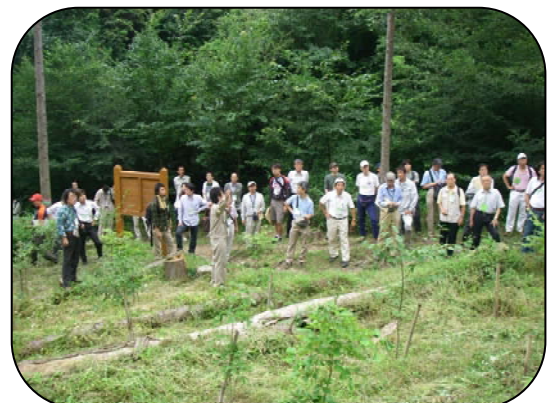
苦労話に共感

室内での講習の後、植栽後数年を経た渦が森地区で見本林を見学し、道具の正しい使い方を学びました。手入れされた森の姿を観察することで、自分たちの活動地の将来に想いをはせました。

「森の世話人」同士の交流も深まり、これからの森づくり活動に役立つ有意義な講習会となりました。



現地で道具の使い方を再確認



現地で森づくりに想いをはせる参加者